


交換用バッテリーパック BP50LT2 取扱説明書

本製品は、無停電電源装置 BZ シリーズ (※ 1) 専用バッテリーパックです。



安全に使用していただくために重要なことがらが書かれています。
設置やご使用開始の前に必ずお読みください

安全上のご注意

この取扱説明書の安全についての記号と意味は以下の通りです。

| | | |
|---|------------|---|
|  | 注 意 | 誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。 |
|---|------------|---|

※物的損害とは、家屋・家財および家畜、ペットに係わる拡大損害を示します。

 : 禁止 (してはいけないこと) を示します。例えば  は分解禁止を意味しています。

 : 強制 (必ずしなければならないこと) を示します。

なお、注意に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性もあります。
いずれも重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

(※ 1) 最新の対応機種は当社ホームページを参照してください。
(https://www.oss.omron.co.jp/ups/product/battery/battery_koukan.html)

注 意 (バッテリー交換時)

交換作業は安定した平らな場所で行うこと。

- バッテリーは落下しないよう、両手でしっかりと保持してください。
- 落下によるけが、液漏れ (酸) によるやけどなどの危険があります。



指定以外の交換バッテリーは使用しないこと。

- 火災の原因となることがあります。
- 商品形式: BP50LT2 (BZ シリーズ専用バッテリーパック)



可燃性ガスがある場所でバッテリー交換をしないこと。

- バッテリーを接続する際、火花が飛び、爆発・火災の原因になる恐れがあります。



バッテリーから液漏れがあるときは液体 (希硫酸) に触らないこと。

- 失明したり、やけどをする危険があります。
- 目や皮膚に付いてしまったら、すぐに大量のきれいな水で洗い流し、医師の診療を受けてください。



バッテリーの分解、改造をしないこと。

- 希硫酸が漏れ、触ると失明、やけどなどの恐れがあります。





注意 (バッテリー交換時)

バッテリーを落下させたり、強い衝撃をあたえないこと。

- 希硫酸が漏れたりすることがあります。



バッテリーを金属物でショートさせないこと。

バッテリーの接続コネクタに金属物を挿入しないこと。

- 感電、発火、やけどの恐れがあります。
- 火災を起こすことがあります。
- 使用済みバッテリーでも内部に電気エネルギーが残っています。



バッテリーを火の中に投げ入れたり、破壊したりしないこと。

- バッテリーが爆発したり、希硫酸が漏れたりすることがあります。



お願い

この製品には、鉛バッテリー (鉛蓄電池) を使用しています。

- 鉛バッテリーはリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルへご協力ください。リサイクルについては、オムロン電子機器修理センタへご連絡ください。



バッテリーの保管 (使用していない状態) 可能期間は、完全充電状態から約 6 ヶ月です。(保管温度 25℃以下の場合。40℃以下の場合には約 2 ヶ月です。)

- バッテリーは使用しなくても内部で自然放電し、長期間放置しますと過放電状態となりバックアップ時間が短くなったり、使用できなくなることがあります。
- バッテリーは保管中にも劣化が進み、寿命が短くなります。早目に使用を開始してください。
- バッテリーご購入後 6 ヶ月以内に使用を開始してください。
無停電電源装置 (UPS) に取り付けて保管される場合は、保管前に 12 時間以上充電をし、保管中は電源スイッチを「切」にして下さい。保管期間が 6 ヶ月を超える場合、超える前に無停電電源装置 (UPS) を 12 時間以上商用コンセントに接続し、バッテリーの再充電を行ってください。
- 保管を継続される場合は、保管温度 25℃以下の場合には以後 6 ヶ月毎、40℃以下の場合には 2 ヶ月毎に再充電を行ってください。

付属品を確認する

付属品がすべて揃っているか確認してください。

万一、不良品その他お気づきの点がございましたら、すぐに販売店へご連絡ください。

- ・取扱説明書 (本書) 1
- ・予備ネジ (バッテリー交換フタ用止めネジ) 1

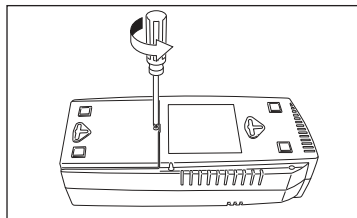
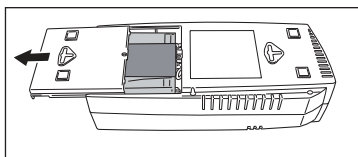
バッテリー交換

● 準備

- (1) まず、接続機器を停止し、接続機器のプラグを抜いてください。
再接続の時に「停電時バックアップする」コンセントと「停電時バックアップしない」コンセントとを間違えないように確認しておいてください。
- (2) 無停電電源装置 (UPS) の電源スイッチを切ります。
- (3) 「AC100V 入力」プラグを電源コンセントから抜きます。

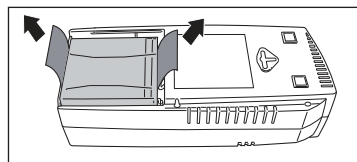
● バッテリー交換

- (4) 無停電電源装置 (UPS) を裏返して底面を上にします。
バッテリー交換用フタの止めネジ (1 個) をネジ回しで外します。(反時計方向に回す)



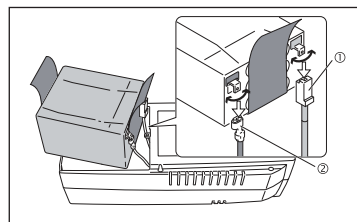
- (5) バッテリー交換用フタを横にスライドさせて、フタを取り外してください。

- (6) 白いラベルの両端を持ってバッテリーを取り出します。



- (7) バッテリーを完全に取り出した状態で、電源コネクタを引き抜きます。

- ① 赤色の電線 (+ 側) のコネクタを抜きます。
- ② 黒色の電線 (- 側) のコネクタを抜きます。



※ 固くて抜けにくい時は、コネクタの根元を持って左右に強く揺らしながら引き抜いてください。



注意

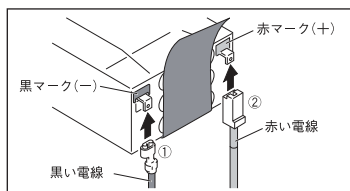
- バッテリーから液漏れがあるときは、液体 (希硫酸) に触らないこと。
またバッテリーパックを逆さまにしないこと。

- ・ やけどや目に入ると失明の恐れがあります。
- ・ 液体が目や皮膚に付着したときはすぐに大量の水で洗い流し、医師の診療を受けてください。
- ・ 交換用バッテリーパックを包装してあるビニール袋にそのまま入れ、テープで封止してください。

- バッテリーパックを落下させないこと。

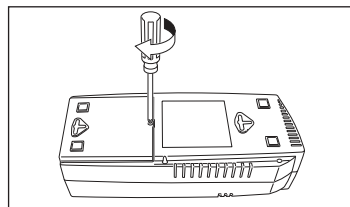
(8) 新しいバッテリーを接続して、ケースの元の方に入ってください。

- ① 黒色の電線（－側）のコネクタを差込みます。
- ② 赤色の電線（＋側）のコネクタを差込みます。



新しいバッテリーは、必ず下記のものを使用してください。
交換用バッテリー型式：BP50LT2

(9) バッテリー交換フタを取り付けてください。
バッテリー交換用フタをネジで固定します。
(ネジ回しで時計方向にまわす)



バッテリー交換日をメモしてください。
別売の自動シャットダウンソフト「PowerAct Pro」をご使用いただければ、本ソフトにてバッテリー交換日を管理いただけます。

● 接続と動作確認

- (10) 接続機器のプラグを電源出力コンセントの元的位置に差し込んでください。
- (11) 無停電電源装置（UPS）の「AC100V 入力」プラグを電源コンセントに接続します。
- (12) 無停電電源装置（UPS）の電源スイッチを入れます。
- (13) 正常に起動し、約 15 秒後、ランプ・ブザーが下記の通りになることを確認してください。

| 表示ランプの状態 | | | ブザー | □ 点灯 ■ 消灯 |
|----------|----|----|-----|--------------|
| 警告 | 電源 | 出力 | | |
| ■ | ■ | □ | OFF | |

● 以上でバッテリー交換作業終了です。

● 交換済みの不要バッテリーはお客様のご負担は送料のみの無償引取りを行っております。

詳しくは別紙、「UPS リプレイスサービス」引取依頼書をご参照ください。